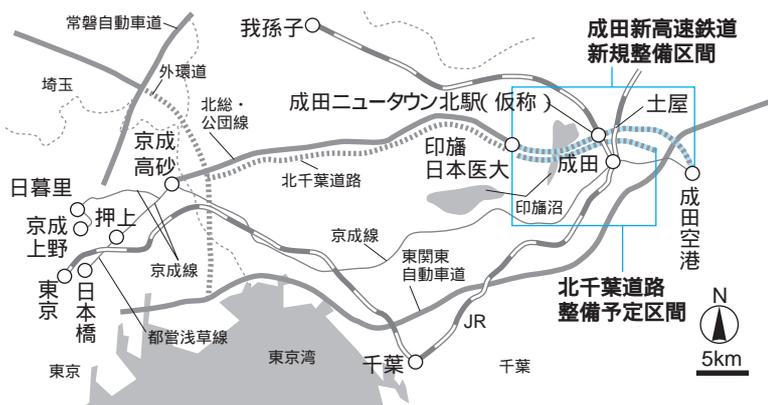


# 成田地域の発展と空港アクセスの大幅な改善に高まる期待



成田ニュータウン北駅予定地付近

JR成田線との交差点(土屋)



未来の駅を思わせる  
印旛日本医大駅

成田空港と都心を結ぶ成田新高速鉄道。それに沿うように整備される北千葉道路。これらの整備は市民の交通利便性の向上ばかりでなく、新駅設置などによる地域の発展にも大きな影響を与えるものと期待されています。今回は事業の概要と進捗よく状況についてお知らせします。

## 成田と都心を結ぶ 成田新高速鉄道

成田新高速鉄道は、京成上野駅から北総・公園線を経由して成田空港駅に乗り入れる鉄道で、成田空港と都心とのアクセスの改善や沿線地域の交通利便性の向上が期待されています。

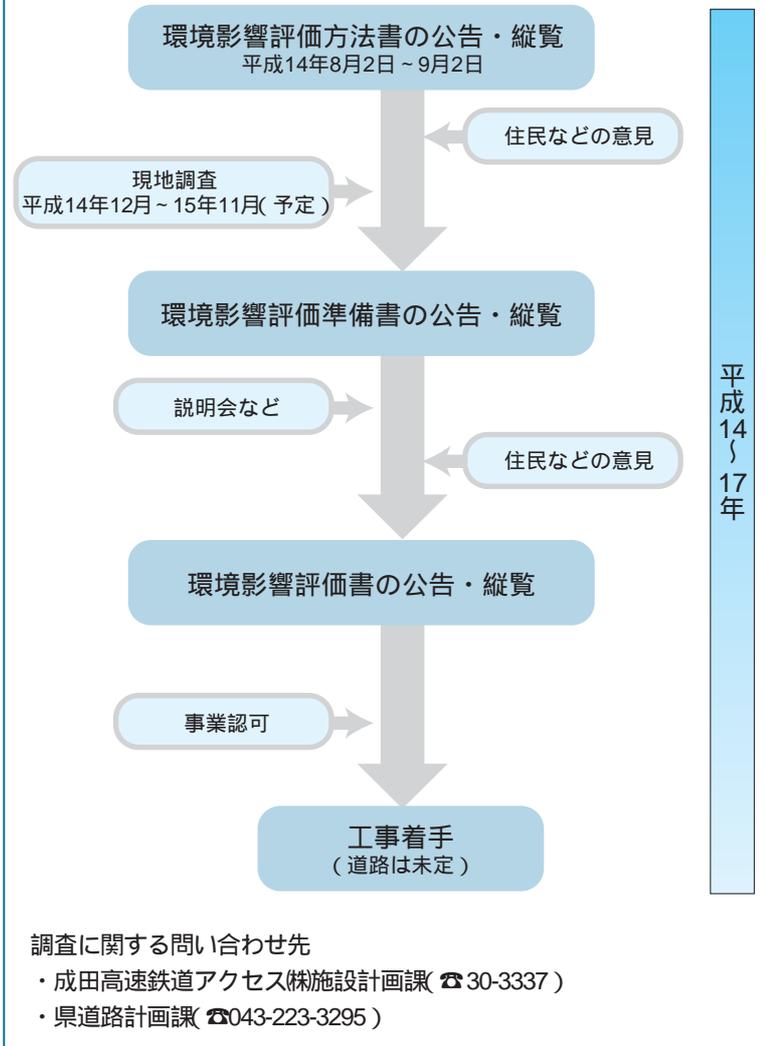
また、JR成田線(我孫子方面)との交差点付近に成田ニュータウン北駅(仮称)の整備が計画されています。

この鉄道は、京成電鉄が運行を行い、建設は、新たに設立された第三セクターの「成田高速鉄道アクセス株式会社」が行います。

【事業者】  
同社では、昨年7月に鉄道事業の許可を得て、環境影響評価(環境アセスメント)の手続き、工事の施工認可のための航空測量や地質調査に着手しました。現在調査などが行われているのは次の区間です。  
成田新高速鉄道線 新規整備区間)

- 【事業区間および延長】
- ・起点…印旛村若萩(印旛日本医大駅)
- ・終点…三里塚(成田空港駅)
- ・主な経過地…印旛村吉高、北須賀、松崎、土屋
- ・延長…19・1km
- 【事業者】
- ・成田高速鉄道アクセス株式会社

## 環境影響評価の手続き



## 空港圏と首都圏を結ぶ 北千葉道路

北千葉道路は、市川市から千葉ニュータウンを経て成田市を結び延長約45kmの道路です。この道路の整備により、首都圏北部や都心部、県西地域などから成田空港や周辺地域へのアクセス強化が期待されます。

現在調査などが行われているのは次の区間です。

一般国道464号北千葉道路 (印旛～成田)  
**【事業区間および延長】**  
 ・起点：印旛村若秋地先  
 ・終点：大山地先  
 ・主な経過地：印旛村吉高、北須賀、松崎、土屋、東金山、馬場  
 ・延長：約14km(4車線)  
**【事業名】**  
 ・千葉東

## 環境影響評価の 手続きを開始

鉄道や道路などを建設するには、環境の保全への十分な配慮が必要です。そこで、事業の実施に先立ち、環境影響評価の手続きが約3年をかけて実施されます(左上表参照)。

昨年度は、事業者が環境影響評価方法書「を縦覧し、住民や関係市町村長、県知事の意見を踏まえた上で、調査方法や予測方法および評価の項目などが選定されました。

現在、環境影響評価の手続きに基づき、動植物の生態系調査や景観への影響調査などが実施されています。なお、鉄道と道路の整備区域がほぼ同一のため、調査は同時に実施されます。

## 成田新高速鉄道は平成 22年度に開業予定

環境影響評価の手続きについては、鉄道および道路とも平成17年度中に終了する予定です。

成田新高速鉄道は、その後平成17～21年度まで工事が行われ、22年度中に開業の予定です。

これにより、成田空港と都心が30分台で結ばれることになり、空

港アクセスは大幅に改善されます。

また、鉄道が整備されることにより、市の発展と市民の交通利便性が図れることから、市では建設主体に対し出資および補助を行い事業の推進に協力しています。

なお、現在の成田新高速鉄道整備計画にはありませんが、市では土屋新駅設置の実現に向けた取り組みを続けていきます。

一般国道464号北千葉道路(印旛～成田)についても、環境影響評価の手続きが終わり次第、早期開通を目指し整備が進められます。



印旛沼の生態系を調べる調査員

鉄道についてくわしくは成田高速鉄道アクセス株式会社 ☎30-3300(市企画課) ☎201500(道路については県道路計画課 ☎043-2233295)・市都市計画課 ☎1560( )へ。